

山行報告書

日時	2025年5/1(木)～5/5(月)	天候
山名	立山3山(立山室堂山荘～一ノ越～雄山～大汝山～富士ノ折立～別山～剣御前小屋経由～雷鳥沢ヒュッテ泊)	
CL	eijis483	参加者 SL: ナン、ナカシ、よっしー
5/1(木)曇り	白木原駅前16:00→富山市内(4:00AM スパアルプス仮眠3h)	
5/2(金)晴れのち曇り	富山市内スパアルプス7:15→雄山神社本宮散策8:30→立山駅9:40→立山室堂山荘11:30→室堂散策+雪上訓練(浄土山下部)→室堂山荘16:00	
5/3(土)晴れのち曇り	立山室堂山荘5:00→一ノ越6:00→雄山7:36→大汝山8:44→富士ノ折立9:13→真砂岳10:37→別山12:00→剣御前小屋12:45→雷鳥沢ヒュッテ14:44	
5/4(日)晴れ	雷鳥沢ヒュッテ7:40→室堂バスターミナル9:25→立山駅11:30→富山市内ホテル泊	
5/5(月)晴れのち曇り	富山市内ホテル7:00→富山IC→太宰府IC→白木原19:00	
(コメント) CL eijis483	GW立山はちょうど12年前に同時期に会山行で痛ましい事故があって以来の会山行だったと思います。(同時期個人山行で行かれた方はおられるかもしれませんが。) 今回も当時と同じルートで計画し、立山三山を反時計回りで縦走して来ました。 事前の計画では剣御前小屋で山中泊予定でしたが、翌日の天気予報が悪く、稜線上で25m前後の強風とガスが予測されたため、その日のうちに雷鳥沢まで降りることとし、出発前に雷鳥沢ヒュッテに予約を変更しスタートしました。 このコースの残雪期の核心部は雄山上宮から大汝山の縦走路に入って間もない箇所です。室堂側の斜面に左傾斜のトラバースと岩場を乗り越えるところがあります。 気温が低い場合はブルーアイスの可能性はありますが、山頂でもマイナス3℃程度だったこともあり、ロープ無しで特には問題なく通過できました。 ただし、室堂バスターミナルで富山県警から滑落事故が多い箇所だとの指摘もあり、今後行かれる方は注意が必要です。 この日の出発時の天気は快晴微風でしたが、天気図や気圧配置を見ても屋前後から西の風が強く吹くことが予想され、ヤマテンの予報では稜線上で15m位の風になるとのことで、なるべく午前中早いうちに剣御前まではつきたかったのですが、別山登り手前あたりから強風となり、しばしば耐風姿勢でやり過ごすはめになりました。 富士ノ折立では12年前に亡くなられたK氏のご冥福祈り、メンバー全員で黙とうを行いました。 *全体総括として、良かった点として初日移動日に雨予報でしたのでノンストップで富山まで移動し、結果的に立山駅の駐車場に早く着くことが出来ました。 朝比較的早い時間だったこともあり、駅近くの第一駐車場を確保できたことはラッキーでした。 また仮眠で伺ったスパアルプスは安くてお勧めです。(休憩3時間まで¥1,700程度) また、午前中に室堂まで入れたため、雪上訓練(アイゼン歩行/特にトラバース時の歩行・アイゼンワーク)、滑落停止、耐風姿勢の取り方をおさらいできたことはメンバーの安心感につながったかと思います。	

	期間中、天候の悪い時もあり、雷鳥が活動するのに絶好の天気でもさに雷鳥祭り状態で、たくさん観察できたことも良い思い出となりました。 参加された皆様、楽しい時間を共有できて感謝申し上げます。有難うございました。 追伸：下山後富山市内で昼によっしーさんお勤めの『もつ煮込うどん』、夜に『えび寿司』で富山名物の白エビ、ホタルイカをはじめとした海の幸、地酒を堪能できたことも今回の大きな思い出となりました。
SL ナン	3日午前5時、出発直前の「立山室堂山荘」前。朝焼けを後光にしてくっきりと浮かび上がる立山三山（雄山、大汝山、富士ノ折立）の稜線の美しさ。息をのみながら、絶好の縦走日和を天に感謝する。 風はそこそこあるが快晴で、雪面はおおむね柔らかい。山懷に迎えられているかも。雄山山頂から鮮やかにシュプールを描くスキーヤーを近くで見て、『この一本』に懸ける山スキーヤーの喜びを想像した。 富士ノ折立では4人で線香（強風で点火断念）を囲み、12年前に亡くなったKさんのご冥福を祈った。 その他、今回の山行旅で出合ったもの。槍ヶ岳をはじめ北アルプスの峰々の絶景、富士山遠景、迫力満点の後立山、圧巻の威容を見せる雪の劔岳。プヒーと可愛い鳴き声をたてながら飛ぶ雷鳥、雄同士で尾を立てケンカする雷鳥、人を怖がらない雷鳥に群がる登山者。手強かった毎秒14m（時速51km）の強風。「糸庄」のもつ煮込みうどん。何を食べても美味しすぎて唸った寿司屋さんの海の幸、それらを引き立てる日本酒の数々。ああ、紙幅が足りない。 私は初の立山（北陸に入ったのも初めて）でした。S行さん号を駆って往復2,000kmキロの長旅だったけれど、大満足の山行になりました。小屋宿泊から下山後の料理屋の予約を含め、綿密な先読み力を発揮されたS行リーダーに感謝するとともに、学びました。パーティメイトのN島さん、Y田さんは、終始盛り上げてくれて楽しかったです。
(コメント) よっしー	無念の厳冬期八ヶ岳縦走チャレンジから約2ヶ月。今度こそ！との思いを胸に立山縦走に手を挙げました。行きの車中でN家さんが何かを読んでおられ、表紙をみると「福岡労山立山事故報告書」。室堂駅では登山の恰好をしている人達に細かい注意事項「雄山から大汝へのトラバースに凍っている箇所がある事、稜線では風が強いので防寒対策を」と。緊張が高まりました。 わたしは今回アイゼンを新調してから練習する事が出来なかったもので、登山前日の2時間ほどを歩行&滑落停止訓練に充てて頂き、とても細かな指導を受ける事ができました。当日は大変いい天気恵まれ、夜明け前から星空や山の写真を撮り嬉しくてたまりませんでした。 立山は室堂から眺めるだけでもいつも感激します。 雄山山頂までは風もそんなに強くなく、久住くらいの難易度かな？と思いました。大汝山までの下りのトラバースは一番緊張しましたが、凍っている箇所はなかったように思います。大汝山の麓でKさんへの追悼を行い、今後も福岡労山を見守ってくださいますねとお願いしました。 大汝山からは天空の散歩道、360度の雪山の絶景を記憶にやきつけました。 別山からの劔岳を見る事ができたのですが、強風で写真を撮ることもできず（気力の問題かも）とにかく飛ばされないようにと必死で歩きました。 劔御前小屋の屋根が見えた時には、もう大丈夫かと安堵しました。 雷鳥沢への下りは、N家さんがアイゼンなのにスキーで滑っているかのように下るのを真似していたら、わたしだけこけてお尻を強打、また調子に乗ってしまいました。 今回、雪山熟練のCL・SLのお陰で無理のない計画、確実な天気図の読み方等、様々な知識が安全に繋がる事を勉強させていただき、来年の雪山への期待が高まりました！ 追記：立山ではよく雷鳥に出会えますが、こんなにいるの？というくらい

	たくさんいてびっくりでした。 往復2000kmの車での長旅、快適に楽しく過ごせたことを感謝申し上げます。 特に最終日の「山好きが集う居酒屋：えび寿司」が最高でしたね！
ナカシ	初めて、3000m級の雪山の縦走に参加させていただきました。 当日は快晴で、山頂からは富士山、槍ヶ岳 劔岳など望め素晴らしい眺望に感動しましたが、途中から稜線上は暴風となり、前日に教えて頂いた耐風姿勢を初めてとり、風の怖さを感じての稜線歩きとなりました。 初日、最終日は天候はイマイチでしたが、雷鳥をはじめて見ることができ癒されました。 初めて尽くしの山行でしたが、Sリーダーはじめメンバーに助けていただき素晴らしい山行ができました。 ありがとうございました。
費用概算	交通費 ¥30,000、宿泊費小屋2泊+下山後ホテル ¥34,500 合計 ¥64,500 *移動中、下山後等食事含まず

*初日室堂にて雷鳥のつかい



* 浄土山基部で雪上訓練



* 二日目一ノ越へ 背景に大日岳・奥大日岳



* 無事雄山神社上宮へ



* 大汝山あたりから稜線上振り返り



* 雄山頂上直下核心部



* 真砂岳から後立山オールスターズ



* 真砂岳あたりからの剣岳



* 同じく真砂あたりから剣岳



* 別山手前で南家スペシャル



* 稜線上から雪の大谷・室堂方面



* 一ノ越から北アルプス南部 中央やや左に槍ヶ岳・穂高



* 富士ノ折立



* 皆で焼香・合掌いたしました



* 下山して乾杯@えび寿司



* 下山して昼食はもつ煮うどん



えび寿司前にて



* 地酒とともにいただきました

